

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	理念を作成しているが、スタッフルームに小さく貼りだしているのみで全スタッフ、入居者、ご家族に認識してもらうまでに至っていない。	入居者、ご家族に理念を公表し、施設の方向性を理解していただく。また、全スタッフが理念に基づいた心構えでケアできるようにする。	書道が得意な入居者様に理念を書いていただくようお願いし、共に作り、フロアに貼りだす。また、スタッフ会議などで全員に認識してもらうようにする。	3ヶ月
2	6	離設防止や事故防止の為、鍵で作動するエレベーターに変更したことで、入居者様が自由に自分の思いのままに施設内を動けるようになったが、他の入居者様の部屋に間違っ入ろうとされたり、外に出れない不満が出てきた入居者様も出てきた。	散歩や買い物など日常的に外出の機会を設け、不満を解消すると共に、入居者様の行動をよく観察しエレベーターの前に立った時に自然に共に出かけられる対応ができるようにする。	エレベーターの前に何故行かれたのかを考え(トイレ・外に出たい・歩きたいなど)声掛けを行い、散歩など気軽にできる外出の機会を増やす。また、食事の配膳車の出し入れや食器運び、近くの郵便局へ手紙を出しに行くなど職員だけでなく、入居者様も交えて行うようにする。	6ヶ月
3	26	記録の書き込み、表現の書き込みが薄くなりがちで本人の心情などが分かりにくい。また、定期的なカンファレンスの実施が出来ておらずケアプラン・モニタリングが反映されていない面がある。	定期的に家族を交えたカンファレンスを実施し、表現豊かな記録により入居者の心理的变化を踏まえたケアプランの作成を行いスタッフ内の情報の共有に繋げる。	記録の書き方の研修を行い、入居者の発した言葉、行動など、事実の書き込みを取り入れた記録の作成に心がけ、各フロアリーダーが定期的に記録の確認を行ない指導していく。また、事実に基づいた記録を基にしたケアプラン作成、モニタリングを行っていく。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。